

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

(1) 「三次地区のまちづくりを考える会」の活動と計画の今後

平成25年7月8日（月） 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① 子どもの安全という面から、国道 375 号沿いで車椅子が通れるくらいまでの歩道の拡張を以前から要望しているが、現在はどうかっているのか。</p>	<p>歩道の中の電柱の撤去、コンクリートぶたの手がかりへのふた等、県と市が協力して行ってきましたが、その後は進展していません。6月14日の県との事業執行連絡調整会議の中で県へ要望し、県も現場をみて少しずつできるところを一緒に考えていくという回答をいただきました。非常に時間がかかって申し訳ありません。いろいろな面でご不満があるかと思いますが、市としても謙虚に受け止めさせていただき、常に要望活動は行っていききたいと思います。</p> <p>教育委員会としても、子どもたちの安全、安心の確保のため、平成23～24年度に通学路の安全点検を実施し、平成25年度までに231か所のうち105か所を改善し、残りの箇所につきましても今後、改善していきます。</p>
<p>② 課題が発生した時、対応をお願いする行政（市役所）と自治連合会の関係についてお聞きしたい。</p>	<p>住民自治組織は、お互いに助け合いをする自治的な組織であり、生活の中で様々な課題が出てきた時に、地域として大きな一つの課題である部分については住民自治組織の皆さんが先頭に立って行政に提起していただき、その中で行政の果たす役割も出てくると思います。その時は、一緒になって一つひとつ課題を乗り越え、解決の方向性を見出していく、そういった関係であると思っています。</p> <p>一方、これまでも行政へ様々な課題を提起していただくとき、住民自治組織を通さないと一切受け付けないということはなく、市民の皆さんが直接行政へ言われた場合も、きちんと受け止めさせていただいています。</p>
<p>③ 議員の懇談会の時、政策提言型の議会を行うという話をされ賛成はしたが、平成24年度は実施したのか。</p>	<p>基本的には議会報告会の中で取組について説明されると思います。</p> <p>議会では、行財政改革調査特別委員会、三次市新庁舎建設調査特別委員会、議会改革推進特別委員会等を設置され、その中で議会としての取組方を政策提言し行政側へも意見を述べられ、それを市として行政へ反映していくという形をとらせていただいています。また、議会の一般質問の中でもいろいろなご意見をいただ</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

(1)「三次地区のまちづくりを考える会」の活動と計画の今後

平成25年7月8日（月） 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	き、市政へ反映させていただいています。
④ 財政状況を見る中で、行財政改革の具体的な取組について説明してほしい。	平成25年度では、総務関係の事務の民間委託により1,200万円、地籍調査事務の民間委託により1,632万円、給食調理業務の民間委託により478万5,000円の削減効果を見込んでいます。また、平成25年度当初予算には、内部管理経費の削減により1億6,000万円、人件費の抑制により2億2,000万円、補助金の削減により2,700万円と、4億円以上が行財政改革の効果として反映されています。
<p>⑤ 職員の削減が行政サービスの低下につながるのではないかと懸念する。特に、システムの変更時に、人員削減によりチェック体制が行き届かずミスが生じることがあるのではないかと懸念する。職員の士気の低下にもつながらないよう、また、まちの隅々まで目が行き届くよう、人員削減には十分な考慮をお願いしたい。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*クラウドとは？ 自治体がサーバー機器を保有せず、外部施設に構築されたシステムを、ネットワークを経由して利用する形態。管理コストの低減が期待できる。</p> </div>	<p>人口5万7,000人の三次市において、職員の適正規模が何人か、市として目標をもっておく必要があります。今年度は37人の退職者に対して6人を採用しましたので、31人の削減となりましたが、削減の限界に近づいているのは事実であると考えています。</p> <p>今年の1月から、県内では2番目に、これまでの自庁型電算システムから「クラウド*」方式の電算システムに移行しました。これにより、近い将来何千万円という行政コストの削減につなげていくことも可能になります。先般、このプログラムの不具合により、市民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしましたが、組織的なチェック体制を構築することで、事務改善を進めていきます。</p>
⑥ 河内小学校をはじめ、他の小・中学校でも、夜間教職員が教育委員会に提出する書類の事務処理に追われ、子どもたちと触れ合える時間が減っているのではないかと懸念する。	在校時間については、特別な事情がある場合を除いて、健康上の問題と安全上の問題から、夜10時以降は学校には残らないように指導しています。在校時間の把握については、警備会社から報告される施錠状況のデータを校長に提供してい

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

(1)「三次地区のまちづくりを考える会」の活動と計画の今後

平成25年7月8日(月) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>ます。 また、事務の簡素化にも努力をしていきます。</p>
<p>⑦ 十日市や三次のグラウンドの方にある堤防の歩道には柵や 休むところが設置されているが、巴橋から太才町の堤防の歩道 には、柵が設置されていない。夜間のジョギングや通行人も多 く堤防の下に転落する危険性もあるため柵の設置をお願いし たい。 これまで2回ぐらい要望したが、市から国土交通省へは要望 書を出しているのか。</p>	<p>太才町側にはなぜ柵が設置されていないのか、国土交通省河川担当者に確認し 返答します。その後、柵が設置してあった方がよいという総意があれば、自治会 に相談させていただき、実現に向けて国土交通省に対して話を進めていきたいと 思います。</p>
<p>⑧ 昨年の市政懇談会のテーマで三次町への進入路の改修整備 について要望したが、その後どうなったか。 行政だけで考えるのではなく、町民にも投げかけて一緒に考 えればいいのではないか。</p>	<p>旭橋につながる県道和知三次線は、県から三次市へ権限移譲されており、寺戸 側の一番危険性のあるところは三次市で改良しますが、橋自体については三次市 では対応することができず、県へ強く要望しています。 東詰めは、あくまで暫定工事ではありますが、危険な状態を放置してはいけな いということから、現在、広島県公安委員会と凍結時の道路の勾配の問題も含め た協議を重ねていますので、ある程度形が整った段階で地域の皆さんへ説明させ ていただきます。 西詰め歩道工事については、説明会を開催し、工事に入らせていただしてい ます。 祝橋については、昨年度、県においてさびた部分の応急処置をされましたが、抜 本的な改修についても視野に入れており、そのための予備調査の予算もついてい ます。今年度はできるだけ腐食を進めないために、塗装工事をするよう聞いてい ます。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

(1)「三次地区のまちづくりを考える会」の活動と計画の今後

平成25年7月8日（月） 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>⑨ 昨年の市政懇談会のテーマで、自治会で比熊山の有効利用をしたいと要望したがその後どうなったか。</p>	<p>今年度、山頂の城跡を中心に14ヘクタールの市有林の間伐を実施するよう予算化しています。今ある作業道を延長して搬出間伐するとともに、作業道から入れない部分は切り捨て間伐を実施するよう考えています。</p>
<p>⑩ 文化会館の跡地利用について、住民は大いに関心を持っており、市の考えを聞きたい。</p>	<p>住民の皆さんと議論を進める中で、三次地区の目標は、歴史的また文化的に魅力のある地域資源を生かし、住み続けられるまちをつくっていくことであり、方向性を、三次まるごと博物館やわくわくするまち、ときめくまち、ほっとするまち等と取りまとめていただき、具体化の取組も始められました。</p> <p>三次市としての文化会館の跡地の位置づけは、三次地区にとってにぎわいを生み出し、活力を生み出すための拠点であるということと、三次地区の歴史や伝統文化等の魅力の集積を生かして、三次市全体の観光あるいは交流面で外部からたくさんの方に来ていただくための中心的な役割を果たす拠点であるということです。</p> <p>跡地利用の前提として、三次地区の住民の皆さんが、様々な会議や学習や交流をもたれる場合には「三次ふれあい会館（三次コミュニティセンター）」が拠点であり、今の文化会館の建物については解体するということです。</p> <p>7月3日に第1回の会議を開催しましたが、三次地区のお年寄りが気軽に寄れるような施設にしたいなど様々な議論が出されました。</p> <p>これからも議論をしながら、最終的に三次地区としての構想を取りまとめていただくつもりです。</p>